

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

| | |
|---------|-------------------------|
| 上位の施策名称 | 施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり |
|---------|-------------------------|

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 畜産課長 田邊 裕彦 | 電話番号 | 0852-22-5132 |
|----------|------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 事務事業の名称 | 農畜産物の放射性物質検査等事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 農業者 | |
| | (2) 意図 | 福島原発事故の放射性物質汚染による風評被害防止のため、放射性物質検査を実施し、県産農畜産物の安全性の確保及びPRを図る。 | |
| 事業概要 | 県産肉用牛の安全性を確保するため、県内でと畜される全ての牛の肉に対して、放射性物質検査を行う。 | | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 式・定義 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|-----|--------------------------|-----|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 指標名 | 県内でと畜される牛の放射性物質検査（全頭検査）実施率 | 目標値 | | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| | | (放射性物質検査頭数/県内と畜頭数) × 100 | 実績値 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | | % |
| | | | 達成率 | | 100.00 | 100.00 | 100.00 | | % |
| | 指標名 | 式・定義 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
| | | | 目標値 | | 0.00 | 0.00 | | | |
| | | | 実績値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | |
| | | | 達成率 | | 0.00 | 0.00 | | | % |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|--------|--------|
| 事業費(b) (千円) | 52,363 | 55,651 |
| うち一般財源(千円) | 52,363 | 55,651 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|----------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ③改善策を検討中 |
|---------------------|----------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

| |
|---|
| 検査状況（H26年度分実績） 全頭検査頭数：3,778頭（すべて不検出） |
|---|

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成23年8月上旬から(株)島根県食肉公社に出荷される牛の全頭検査が実施され、(株)島根県食肉公社による検査結果証明書の発行やホームページへの検査結果公表により、安全性がPRされている

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
○事業終了時期の目的が立たない状況が続いていること。
- ②困っている状況が発生している「原因」
○流通段階ではまだ「検査結果証明書」が求められている。
- ③原因を解消するための「課題」
○流通業者や消費者の理解促進

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○他県の実施状況の把握と連携により、事業の終了時期や手法の変更を検討
○国に対して風評被害対策の強化等継続要望していく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）